木工体験（フォトスタンド）

自然素材を使い、手づくりのよさや作る喜びを感じるとともに、研修の思い出となる作品を制作します。

場所	研修室	対象	小学生以上
所要時間	1.5 時間	人数	200 名程度まで
時期	全シーズン	天候	制限なし
指導	指導員	提出書類	指導依頼申込書 教材注文票
経費	9,000 円／1 回の指導につき（参加者 60 名毎） 400 円／セット（ベース板、三角板、装飾物）		

室内での活動

活動の教育的効果	（1）自然素材をどう配置するかを考えるため、創造性を養うことができる。 （2）細かい作業になるので、集中力を養うことができる。 （3）完成品が形として残るので、研修の思い出になる。
準備するもの	団体が準備するもの
	□クラフトキット（指導員より配付）
	交流の家（指導員）が貸し出すもの
	□グルーガン　□装飾物（木の実や小枝）　□木工用ボンド □ウッドバーニングペン（電熱ペン）　□持ち帰り用の袋　□ピンセット
備考	□指導員に依頼するため、雨天時のみの実施はできない。 □他団体と同じ時間帯の実施はできない。

活動の流れ

木工体験（フォトスタンド）

	時　間	項　目	内　　容	備　　考
活動内容（手順）	事前	安全指導	□材料が間伐材でできていることを紹介する。 □作業手順を説明。 □ウッドバーニングペンやグルーガンの取り扱い方法（やけど等への注意喚起）。	
	１時間～１時間１５分	作成	□ベース板と三角板の角、表面のざらつきなど、サンドペーパーを使って滑らかにする。 □写真を置く場所を決め、鉛筆で縁取りする。 □写真を固定するため又は飾り付けるためのデコレーション素材を選ぶ。 □選んだデコレーション素材を基材に仮配置し、デザインを確認する。 □写真を固定するためのデコレーション素材をグルーガンで接着する。 □写真の周りに飾り付けるデコレーション素材を接着する。 □ベース板を立てるための三角板を裏側にグルーガンで接着する。	
	１５分	片付け	□余ったデコレーション素材をもとの場所へ戻し、机の上を片付ける。	
想定されるリスク	□グルーガン、ウッドバーニングペンによるやけど			
指導のバリエーション	□他のクラフト体験（すべらっぷ、丸木のマグネット、富士山プレート、ミニぞうりストラップ、スプーン・フォーク作り）と組み合わせて実施することができる。ただし、十分に時間を確保すること。※組み合わせる場合は、それぞれに材料代がかかる。			

室内での活動